

平成29年7月14日

守谷市議会議長 殿

委員長： 高梨 恭子
報告者： 末村 英一郎

総務教育常任委員会視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日	平成29年7月14日（金）
視察・研修場所	大和市文化創造拠点シリウス
視察・研修項目	図書館運営の取組みについて
参加者	守谷市側 教育部 飯塚次長、議会事務局 山崎係長 高梨（恭）委員長、末村副委員長、砂川委員、堤委員、 青木委員、佐藤（弘）委員、伯耆田委員
	相手側
視察・研修目的	文化創造拠点シリウスにおける図書館運営の実情を学ぶ。運営は指定管理者方式で、企業複合体である指定管理者「やまとみらい」による。
視察・研修内容	大和市役所執行部との意見交換 大和市文化創造拠点シリウスの現地視察
視察・研修総括 (今後の取組み等)	大和市として司書人材の採用は行っていない点など、総じて教育機関としての図書館のあり方は重視せず、市民の娯楽、居場所、交流スペースの提供といったサービスの提供に特化している考えが感じ取れた。一つの方向性としてモデルケースになる事例と思われる。

視察・研修内容

【神奈川県大和市概要】

面積 27.09km² 人口 234,859 人（推計人口、2017 年 5 月 1 日）

東西間の距離は 3.22km、南北間の距離は 9.79km と南北に細長い。

人口密度は 8,670 人/km² で、市域の多くが市街化区域。

東京都心から 40～50km、横浜市街から 20km の圏内にあり、市内中央部を東西に相鉄本線、南北に小田急江ノ島線が走るほか、北部に東急田園都市線が乗入れ、狭い市域に 8 つの駅がある。

市内のどこからも最寄り駅まで約 15 分前後と利便性は高く、ベッドタウンとして人口増加が続いている。

1. 大和市文化創造拠点シリウスについて

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場などを中核とした複合公共施設。2016 年 11 月にオープン。

指定管理者やまとみらい（株式会社図書館流通センター、サントリーパブリシティサービス株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、株式会社明日香、株式会社ボーネルンド、横浜ビルシステム株式会社などの共同事業体）による運営。大和駅より徒歩 3 分ほど。建設工事費等の施設取得費用は約 147 億円。年間の指定管理料は約 8 億円。平均来館者数は平日 7000 人、土日祝日は 12000 人ほど。

2. 施設建設への経緯

当初は、分譲マンション建設を中心とする駅前再開発計画があり、市が再開発ビルの 1 フロアを取得し、市民交流センターに充てる予定だったが、後に建設資材費の高騰や不動産市場の低迷などから再開発計画の見直しが迫られた。

一方で、芸術文化ホールの整備という要望の声も多くあった。

定員 600 人規模のホールを備えた旧生涯学習センターはあったが、開設が 1972 年と古く、老朽化が著しかった。

このような流れを背景に、大和市は 2007 年 11 月に「(仮称) やまと芸術文化ホール基本構想検討委員会」を設置。再開発事業で新たに生み出される保留床を市が購入し、そこを公益施設に充てるスキームが提案された。

なお「防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律」に基づき、国から生活環境または開発に及ぼす影響の緩和を目的として交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の交付を受け整備されている。

3. 図書館機能の概略

運営主体は守谷市と同じく、株式会社図書館流通センター。

基本的に運営は指定管理者に任せており、大和市として司書など専門的人材の雇用は行っていない。

8億円の指定管理料のうち、資料購入費の内訳は不明（教えてもらえなかった）。

6階建ての複合施設の内、5階にレファレンスカウンターを置くなど、図書館機能の中核となっている。

1階から4階までも、健康、こども向け、市民交流といったテーマごとの書棚を置き、セルフ貸出機も設置してあるなど、施設の大半が図書館機能を持っている。また本の貸出、本の返却、予約資料の確保スペースなど多くの場面で機械化、無人化が進められており、人件費の削減が図られている。

1階にはスターバックスコーヒーの店舗もあり、利用者はここで購入したコーヒーや持ち込んだ飲料を飲みながら、館内どこでも図書館の本を読むことができる。

スペースに余裕を持たせたデザイン、閲覧席も多く、ゆったりとした滞在ができる空間づくりが重視されていると感じられる。

蔵書数はシリウスのみだと約35万冊。登録者数や貸出率等の数字はオープンから間もないこともあり、現在まとめている最中との事。

4. 質疑応答

Q) 図書館として指定管理者制度導入後の事業の変化はあったか。

A) 複合施設のため、例えば健康関連の公演が行われるなど他のイベントが施設内で日常的に行われている。イベントと合わせたテーマの本の展示を行うなど、サービスの幅が広がった。

Q) 図書館は教育機関であり、専門的人材確保などの面から指定管理者制度にはなじまないという議論が多く自治体でなされているが。

A) そのような指摘は大和市でもあったが、複合施設であることから、図書館のみ指定管理からはずす事は難しかった。

なお、施設建設以前から株式会社図書館流通センターに業務委託をおこなっており、大和市として司書などの採用は重視してこなかった。